

## 04a すぐに使える統計解析 ～IoT・ビッグデータにも活用！～

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

### 1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	NISA研修室(住所:〒850-0032 長崎市興善町4番6号702号室)
・講師	麻生教育サービス㈱(AES)講師: 青木 克頼
・開催月日	2022年7月27日(水)・28日(木)・29日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

### 2. 対象者

アプリケーション開発において要件定義及び設計に携われる方。  
また、マーケティングリサーチに統計的方法を使いたい方

### 3. カリキュラムの概要

昨今では『ビッグデータ分析』などの流行もあり、統計分析が注目されています。統計分析の書籍なども多く出版されていますが、本当に大切な部分は、分析手法よりも、その準備と結果の表現にあります。この講座では、統計分析の過程において何を考慮すべきか、どんな手順で進めるかを豊富な演習と共に学びます。

### 4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
7月27日	1.データ分析を設計する	4.5hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データ分析の心構え</li> <li>●分析の概念図はこう描く</li> <li>●問題領域を決める</li> <li>●評価軸を決める</li> <li>●要因を挙げる</li> <li>●要因を選ぶ</li> </ul>
	2.データを事前にチェックする	2.5hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なぜ事前チェックをするのか</li> <li>●データの全体概要をチェックする</li> <li>●個別の値をチェックする</li> <li>●データをクレンジングする</li> </ul>
7月28日	3.分析手法を選ぶ	4.0hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3つの代表値を知る</li> <li>●代表値の得手・不得手</li> <li>●クロス集計する</li> </ul>
	4.標準偏差を使う	3.0hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準偏差って何?</li> <li>●標準偏差はこう使う</li> <li>●標準偏差を計算する</li> <li>●標準偏差で意思決定する</li> </ul>
7月29日	5.グループ間の差の確からしさを検証する	1.5hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ間の大小関係は正しいと限らない</li> <li>●大小関係の確からしさをどう考える</li> <li>●大小関係の確からしさを判断する</li> </ul>
	6.分析結果の受け止め方と伝え方	4.0hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●結果の解釈はここに注意</li> <li>●結果の表現はここに注意</li> </ul>
	【応用演習】	1.5hr	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データ分析設計の実習</li> </ul>
	計	21.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

## 5. 使用教材

- ①本物のデータ分析力が身につく本  
(注)市販本テキストは変更する場合があります。
- ②オリジナル教材

## 6. 到達目標

- ・データ分析を業務に活用するための手がかりを身につけることができる。
- ・データ分析を必要とする部署の対象者と折衝し「受け入れられるデータ分析」にするための方法を身につけることができる。
- ・統計解析を行った結果について、そこから適切な情報を得、各種業務改善提案に活用できる。
- ・統計解析手法について、その優位性を理解し、必要とする人に解説することができる。
- ・データ分析結果について、誤読や誘導に左右されずに的確に分析するための手法を身につけることができる。

## 7. 講座レベル

ITSSレベル: 2～3